

令和4年第8回にかほ市教育委員会 定例会

日 時 令和4年7月22日(金)

午後1時30分～

場 所 金浦公民館 研修室

議 事 日 程

- 第 1 会議録署名委員の指名
- 第 2 議案第42号 令和4年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
- 第 3 協 議 学校環境適正化検討委員会の設置について
- 第 4 報 告

令和4年7月22日招集

令和4年第8回
にかほ市教育委員会会議録

にかほ市教育委員会

令和4年第8回にかほ市教育委員会会議録

1. 期 日 令和4年7月22日 金曜日
2. 場 所 金浦公民館 研修室
3. 開 会 午後 1時30分
4. 閉 会 午後 3時03分

5. 出席委員 教育長 齋藤 光 正
委 員 佐々木 郁 子
委 員 佐藤 道 彦
委 員 小松 雅 子

6. 説明のための出席者

教育次長	畠山 真姫子
教育総務課長	今野 和彦
学校教育課長	菱刈 宏記
学校教育課副主幹	佐藤 義明
生涯学習課長	山田 高
仁賀保公民館長	三浦 晶子
フェアイト子ども科学館長	佐々木 和則
白瀬南極探検隊記念館長	佐々木 孝人
文化財保護課長	鎌田 昭義

7. 書 記 教育総務課副主幹 佐々木 真紀子

8. 会議に付した議案

議案第42号 令和4年度要保護・準要保護児童生徒の認定について

9. 可決した議案

議案第42号 令和4年度要保護・準要保護児童生徒の認定について

10. その他の確認事項

- (1) 令和4年第9回教育委員会は令和4年8月22日（月）午後1時30分から金浦公民館で開催することにした。

11. 会議の要旨

【開会 午後1時30分】

【教育長】

ただいまから第8回にかほ市教育委員会を開催いたします。本日の会議の出席委員は4名であります。では議事日程の第1 会議録署名委員の指名を行います。委員は佐々木委員さんと佐藤委員さんをお願いします。書記には事務局の佐々木副主幹を指名いたします。それでは日程の第2 議案第42号 令和4年度要保護・準要保護児童生徒の認定について、学校教育課長をお願いします。

(学校教育課長・学校教育課副主幹 説明)

【教育長】

それでは、議案第42号については、3件中1件認定を承認してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

【教育長】

異議がないと認め、原案どおり承認いたします。

【教育長】

次に、日程の第3 協議に入ります。

総合教育会議や前回の教育委員会でもお話しましたが、10月に学校環境適正化検討委員会を設置することとして準備を進めております。まだ、準備段階ですが、これまで事務局がまとめた現状及び関連資料について説明し、ご意見を伺いたいと思います。そのご意見を取り入れながら、今後進めていきたいと考えます。では、教育次長からお願いします。

(教育次長 説明)

先月、学校環境適正化委員会について簡単にお話したところですが、スケジュールとしては、6月に要綱を制定しております。そして7月本日、教育委員の皆さまに進捗、現状をお伝えするという事にさせていただきます。このあと8月以降は、部長会議等市役所内部で同じような内容を説明させていただくことになります。9月議会においては、教育行政報告で説明します。そのあと、各種関係団体等にアンケートを取っていき考えています。10月には、適正化委員会を立ち上げて、月2回ほどのペースで会議を開き、3月には提言書、基本方針(案)をまとめるという本年度の予定となっております。まだ、資料も不完全ですので、教育委員会で皆さまに進捗状況をお伝えしながら、ご意見やご感想等も伺い、進めていきたいと考えております。

今回は1回目ということで、現状及びアンケートについて、教育総務課長から説明さ

せていただきます。

(教育総務課長 説明)

先日も若干お話しさせていただきましたが、学校環境適正化検討委員会の設置についての準備状況や作成した資料・アンケートの案等について事前に送付させていただいております。今回委員の皆さんのご意見を伺わせていただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

配付している協議資料は1～5まであります。順を追って説明して参ります。

まず、資料1は設置要綱になります。要綱は組織の構成や人数、任期などを定めたものとなっています。この要綱に基づいて委員会を設置し、審議検討し教育委員会に答申されるということになります。こちらの要綱はあとでご覧頂ければと思います。

次に資料2から順を追って説明いたします。資料2～資料5はまだ完成には至ってなく、現在改良を重ねている状況です。10月の開催までには完成させますが、今回は現段階での案として説明させていただきますのでその点ご了承ください。またそういう事情ですので、この協議の場での共有のみとさせていただきたいと思います。(社外秘)

それでは内容に入ります。資料2の1ページをお開き下さい。まず委員会設置の目的ですが、学校環境適正化は将来に渡ってよりよい教育環境を整備し、将来を担う子供たちの教育を充実させるために行うものです。児童数の減少が今後も続くことが予想され、今のうちに対応策を検討し、子供たちへの影響を最小限にとどめる事が必要と考えます。

1ページの2 小中学校の現在の規模です。平沢小は基本的に1学年2学級ですが4年生のみ1学級となっているため全11学級となっています。院内小と金浦小は全学年1学級で計6学級となっています。象潟小も基本的に1学年2学級ですが、4年生のみ3学級となっているため全13学級となっています。その下が中学校です。仁賀保中は基本的に1学年2学級ですが3年生のみ3学級となっていて全7学級となっています。金浦中は全学年1学級で計3学級となっています。象潟中も基本的に1学年2学級ですが、3年生のみ3学級となっていて全7学級となっています。

2ページになります。学級数の標準規模が国から示されていますが、小学校では1学級35人、中学校では40人を標準として12～18学級が学級数の標準とされています。もちろん、地域の実態その他特別の事情があるときはこの限りではないとされていますが、学級数だけでみるとこの標準規模を満たしておりません。望ましい学級数の考え方としては、中段にあるように複式学級を解消するために少なくとも1学年1学級以上、また全学年でクラス替えを可能とし、同学年に複数教員を配置するためには1学年2学級以上あることが望ましいとされています。同様に中学校においても全学年でクラス替えをしたり、同学年に複数教員を配置するためには少なくとも1学年2学級以上、また、全ての授業で教科担任による学習指導を行ったりするためには、少なくとも9学級以上を確保することが望ましいとされています。この標準規模や、望ましい学級数の考え方を踏まえてもう一度にかほ市内の学校を見ると標準規模を満たしているのは象潟小学校のみで、ほかは小学校中学校ともに小規模あるいは小規模化に向かっている状況

となっています。

3 ページをご覧ください。上段が小学校の児童数の推移と令和10年までの推計で、下段が同じく中学校の推移と推計です。グラフは平成17年からの総数を表しています。

小中学校ともに平成17年から現在まで若干の増加が見られた時期もありましたが、総じて減少傾向にあるということはこのグラフからおわかり頂けるものと思います。

つまり今現在、標準規模にある象潟小学校、標準規模に近い平沢小学校も、現在の規模が維持できない時期が迫っているということになります。また、院内小、金浦小については1学年1学級が維持できず複式学級になる可能性が高くなっています。

4 ページになります。これまでの適正化の実施状況を記載しています。

にかほ市発足以降、これまで小学校の統合を3回、中学校の統合を1回実施しております。小学校では平成26年度に院内小と小出小を統合し、183人の児童数になりましたが、その8年後となる令和4年には児童数112人となり統合時より4割ほど減少しています。平成29年度には象潟小学校・上郷小・上浜小が統合し418人になりましたが、その5年後となる令和4年には370人1割ほど減少しています。

次に4ページの7 5ページの8には 小学校及び中学校の人数の実績及び将来推計が記載されています。小学校では令和12年(2030)年には、市全域で600人を切り、さらに令和17年には500人を切る予測となっています。中学校においても令和12年(2030)には400人を切り以降も減少が続く見込みです。(この予測は社人研(国立社会保障・人口問題研究所)推計2018の推計値を基に算出しています。)

5 ページ中段ではいわゆる小規模校の対策例5つを記載しています。

通学区域の変更や柔軟な運用、学区外からの通学者を増やす方法、これは通学区域の柔軟な運用と併せて行われる必要があると思います。また、小中一貫校の新設とありますが、一貫校にもいろいろな種類があり施設隣接型、施設一体型、施設分離型、義務教育学校などの種類があるようです。一般的な対策としては統廃合があげられます。最後に存続ありきで複式学級を受け入れる。この対策の立て方が今回の検討委員会のメインになるので、この5ページの記載内容にもっと改良を加えたいと思っています。

6 ページからは参考資料となりますのでご参照ください。資料2については以上となります。

次にアンケート調査についてです。資料3をご覧ください。

適正化検討委員会に提供するデータ収集のため、9月にアンケートを実施します。対象は保護者、教員、児童、生徒及び地域関係者(自治会長)を対象にしたいと思えます。保護者については未就学児の保護者全て及び小学校5年生、中学校2年生の保護者を対象にします。アンケートの内容は資料4に記載のものとなります。項目は通学時間や通学距離、望ましい学級数などについての設問となっています。なお、教員用のものは、ほぼ保護者用と同じ内容となります。児童生徒についても小学校5年生、中学校2年生を対象にして実施したいと考えていて、その内容が資料5となっています。

以上駆け足で説明させていただきましたが、委員の皆さんのご意見、ご感想をよろしくお願いいたします。

【教育長】

私たちは、今まで統廃合を釜ヶ台、院内、小出、上郷、上浜とやってきました。根本的な理由として、複式学級解消のため、統廃合を行うというのが前回の提言でした。

これからは、にかほ市全体として、まちづくり、子育てという大きな視点で考えていただきたいのです。「私たちの地区に学校がなければいけない」とか、そういう発想ではなく、第三者的な感覚で、まちづくりの一環として広い視野でみるのが大事だと思います。にかほ市総合発展計画の後期の5年間で、ある程度の方向性をもって進めていきたいということであります。この大きな要因は、2040年になれば、小、中学校各1校で賄える児童生徒数になってしまう現状です。にかほ市の将来に向けて、どのように学校を作り上げていくか、どのような環境で、市を支える子供たちを育てていくかという捉え方で、委員には第三者的立場の方にも入っていただきたいと考えています。具体的に進めていくには、難しい部分もありますが、適正化委員会を立ち上げて、来年の3月には、ある程度の提言を提示するという計画です。委員の皆さんから、ご意見、気付いたこと等お願いします。

【小松委員】

2040年には、小中一校ずつの規模になることにより、前段階で統廃合を進めていくことになるのか、一気に小中各一校に持っていくのか、お聞きします。また、最終期限はどのあたりと見ていらっしゃるのでしょうか。

【教育次長】

子供の推移等を見ながら、期限も含めて検討し、提言書(案)をまとめる形になります。

【教育総務課長】

タイムスケジュールも合わせて、今回検討していただきます。

【小松委員】

第三者的な立場からというのは、市外というわけではなく、にかほ市のなかで、当事者じゃない方という意味でしょうか。

【教育長】

具体的な人選は、これからです。いずれ地区内、にかほ市内の方だけだと視野が狭くなりがちです。まちづくりの専門家や大学の先生等を入れて検討していこうという捉え方です。

【佐藤委員】

正直なところ、旧町には1校欲しいというのが本音です。ただ、子供の減少というの、差し迫っている状況であります。象潟地区で3校の統合がありました。閉校にな

ると地域から子供たちの声が聞こえなくなり、衰退につながるというような懸念があります。ただ、まちづくりという観点からしても、広い視野で感情論だけでは片づけられないのですが、統合したとき、場所の設置等の問題もあるでしょうし、象潟地区も結構広いので、バス通学の問題も出てきます。冒頭にも申しましたが、各地区に小、中一校ずつあってほしいのが本音ではあります。小中一貫校のメリットとして、これで存続できるのか、実際よくわかりません。中高一貫校の例もありますし。また、統合ありきのアンケートなのか、「賛成か、反対か」という設問があってもよいのかなと思います。複式学級になると、本当にこの地域はダメなのか、その方向性も残してほしいと一市民として思っているところです。

【教育長】

複式であっても残したいという地域があります。例えば、北秋田市の場合、上小阿仁村では複式学級でもやっていく方向を取りました。事務職員、養護教諭は配属されず、複式の場合、1学年の半分の時間しか授業ができません。結果、お手上げ状態となり、統廃合を行いました。

小中一貫校を最初に行ったのは井川町でした。先生方には小中の兼務発令がありますから、小学生は、中学校の先生から専門的に英語や美術を教えてもらえます。6年生が中学校に行ったとき、中一ギャップがありません。9年間一貫して教育できることは、とてもよいことです。ただし、児童生徒数が少なくなれば、一貫校の維持は難しくなります。

学校の統廃合には、ふたつの視点があります。ひとつは、地方創生です。地域づくり、コミュニティづくりです。そのために、学校は必要だとなれば、人数が少なくなっても、複式になって、子供たちの教育環境が悪化しても残すべきかということです。もうひとつは、にかほ市の一体化です。仁賀保保育園は、小学校に上がると、平沢、院内に分かれます。一緒のほうがいいと声もあります。保護者、子供たち、地域の声を私たちは把握していかなければと思います。

現在、金浦中学校には、美術、技術の先生がいません。体育の先生が仮免許を取って対応しています。どうしても専門性が弱く、学習意欲の低下も否めません。むしろ、小学校より中学校を主にして考えていく捉え方もしていけないと思います。

私たち委員会が市民の提言だと思って、委員の皆さんからも、いろいろな意見を教えていただけるとありがたいです。

【佐々木委員】

いちばんは、子供たちの学ぶ環境、成長育成を願うことだと思います。ここの地区は地元の学校へ通いますが、都会だと電車で一時間くらいかかっても「通いたい。行きたい」学校があれば、一年生から通っています。例えば、魅力的な学校を作り上げることを目標にするのであれば、保護者、地域の方も納得のいくような形に向かっていくのではないのでしょうか。「にかほには、こんなにすばらしい学校がある」となれば、規模は

小さい市でも住みやすい環境のひとつとして、移住してくる方もいるかもしれません。地域づくりでもあるので、楽しみにしています。よろしくお願いします。

【教育長】

いずれ、いろいろな方向性が出た場合は、委員の皆さんには電話等連絡が行くと思いますので、ご対応をよろしくお願いします。どうしても、答えにくい場合は教育委員会へご連絡ください。皆さんの意見を取り入れて進めてまいりますので、よろしくお願いします。

次に、日程の第4 報告に入ります。私からは、『「弁当の日」の設定は?』です。鶴舞小学校、子吉小学校、本荘東中学校在職時に提案しましたら、反対を受け実行には至りませんでした。孫が行っている幼稚園では、月に一度弁当の日があります。給食は食べないことがあっても、自分の弁当は残さず食べてくるようです。小学校では、野外炊飯活動を通じて、米や野菜を作る人、届ける人の気持ちに気付き、食に対する感謝や思いやりが育っていくのではないのでしょうか。家庭で出されたものを食べるだけ、感謝もない、給食もそうです。保護者も忙しいのですが、子供と一緒に、心を込めた料理作りから学ぶことは多く、私なりに、いつかはやってみたいと思っています。

それでは、教育総務課長から、順に報告をお願いします。

(教育総務課長から順に報告) 各課からの報告は別添、資料参照

【教育長】

各課長から報告がありましたが、委員の皆様から何かありませんか。

【佐々木委員】

報告の件ではないのですが、小さな苦情をお話します。ある市民が、エスパーク☆にかほのキッズルームに子供をつれて遊びに行きました。玩具がガタガタしていたので、危ないと思い、事務室に行きました。管理人は、携帯で電話中だったそうです。ドアをノックしても、2回も無視され、ドアも内鍵をしているのか開きません。その方は、他の体育施設に問い合わせました。すると、「玩具を見たこともないし、こちらに電話されても困る」と言われたそうです。市民の対応、声がけを無視しないで欲しいのです。7月16日から18日の連休中のことでした。事務所の電話ならまだしも、携帯で話しながら、手で「あとにしてくれ」というように静止され、その方は、「みんな、帰るよ。ここ危ないから」と言って帰って来たそうです。夏休みに、また多くの利用が見込まれます。市民の声へ対応をお願いします。

【教育長】

とても重要なことなので、教育次長から関係部署へ確認をお願いします。

【小松委員】

県立図書館の池田修三展を見に行ってきました。とてもきれいで、見やすく良かったです。

【教育長】

中学校の職場体験学習はどうでしたか。

【フェライト子ども科学館長】

素直で申し分なかったです。教室の趣旨に沿った内容でやればよいのですが、私にも慣れだったので、意に添わなかったところもあったかもしれません。

【白瀬南極探検隊記念館長】

2日間と短い期間でしたが、積極的に動けるハキハキした生徒たちでした。オーロラドームで隕石の説明をするなど、4人で打合せをして、とても上手にできていたと思います。

【教育長】

各課から職場体験学習状況報告を上げてほしいと思います。それを受けて、学校教育課長から各校校長へがんばった状況を報告してくれませんか。郷土資料館はどうですか。

【文化財保護課長】

中学生はありませんが、高校生のインターンは来ていたただけの予定です。伝承芸能祭を開催するにあたり、インターンとは別に由利高校からボランティアの申し出がありました。

【教育長】

課長たちにはお願いですが、各学校の職場体験の様子やボランティア等があれば、教育次長及び学校教育課長へ報告をしていただけませんか。即私たちのほうで、各学校へ感謝の気持ちを伝えたいと思います。そういう連携をしていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。ほかに委員の皆さんから何かありませんか。

(なしの声)

【教育長】

ないようですので、これで報告を終わります。次回の8月の教育委員会ですが、8月22日月曜日、午後1時30分から、金浦公民館で行いたいと思います。よろしくお願ひします。以上をもちまして、第8回にかほ市教育委員会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

【閉会 午後3時03分】

署名

にかほ市教育委員会 教育長

〃 委員

〃 委員

齋藤光正

依々木郁子

佐藤道彦



「弁当の日」の設定は？

にかほ市教育長 齋藤 光正

今、「弁当の日」は、47都道府県、1400校以上で実施されているようです。その「弁当の日」を提供したのは、子どもが作る「弁当の日」提供者である竹下和男さんという方です。竹下和男さんは、

- ・「弁当の日」が生まれた理由
- ・「弁当の日」が*ていねいな食事につながるヒント*

について、次のように述べておられます。

1. 「弁当の日」とは？

- ・平成13年に、香川県綾川町立滝宮小学校の5、6年生を対象にスタートしたものである。
- ・子ども自身が作ることで、食事を作る人、米や野菜を作る人、それを届ける人など、食に関わる人の存在や気持ちが分かるようになればいいなという考えがきっかけである。
- ・大切なルールは、「親は手伝わない」ことである。
- ・献立作り、買い出し、調理、弁当詰め、片付けまですべて子どもがやる。

2. 「給食」の時間でのショックは？

- ・ランチルームで食事をしている子どもたちの姿から、～義務的に箸を動かしているだけで、美味しそうな表情をしていない子どもが多い。
 - ・～「食べ残し」が多い。
- 等を感じ、ショックを受けた。

3. 楽しい給食の時間を取り戻すには？

- ・栄養士や調理員の苦労や工夫が、子どもたちに伝われば残食も減るのではないか。
 - ・「給食のありがたさ」「感謝」を理解してくれるように口で言うよりも、実際に作らせたらどうだろうか。
- ※家庭科の時間の調理実習、キャンプ等での野外料理などでは、子どもたちが楽しく料理に挑戦し、うまくできなくても楽しそうに美味しく食べている。

4. 実践してみてもうどうだったか？

- ・当初、教職員も反対していたが、子どもたちが楽しく食べる表情を見て驚き、変わっていった。
 - ・給食の残食は減り、子どもたちの作り手への感謝の気持ちが芽生えてきた。
- ※ある子どもの感想から
- ～僕は1人で弁当を作りました。でも、全部自分でできたわけじゃない。お米は作っていないし、野菜も作っていない。鮭も獲っていないし、弁当箱も作っていない。いろいろな人のおかげで、僕は1人で弁当を作ることができました。

5. 「弁当の日」の取り組みへの思いは？

- ・子どもたちを取り巻く「食環境」を変えたいという思いである。
- ・料理を作らない親を責めるつもりがないが、自分で料理を作れる子どもを育てるように料理を教えてほしい。
- ・家族がそろって台所に立ち、料理を作ってほしい。
- ・料理を作っている親の姿を子どもはよく見ているので、一緒に作りながら、心を込めて料理する大切さを伝えてほしい。

教育総務課

1. 事業計画

○にかほ市教育委員会評価委員会

日時：令和4年8月22日（月） 午前9時30分～

場所：金浦公民館 2階 音楽室

案件：令和3年度事業 点検・評価報告書の最終確認

[令和3年度対象事業]

No	事務事業名	課名
1	奨学金返還助成事業	教育総務課
2	Q-U検査事業	学校教育課
3	市民文化祭	生涯学習課
4	ニカホ再発見！自然観察会	仁賀保公民館
5	子ども版画教室	象潟公民館
6	実験工作教室	フェライト子ども科学館
7	本の福袋「おぼんだま」「お年玉」	図書館こぴあ
8	企画展事業	白瀬南極探検隊記念館
9	ホーム自主事業（ピアノの一般無料開放）	仁賀保勤労青少年ホーム
10	池田修三作品活用事業	文化財保護課

○令和5年度にかほ市奨学生の募集

募集期間 令和4年8月1日（月）～9月30日（金）

対象者 令和5年度に高等学校以上の学校に進学・在学する方

種類 月額奨学金・入学一時金

金額

区分	月額奨学金	入学一時金
高等学校	月額3万円以内	一括10万円以内
高等専門学校（1～3学年）		
高等専門学校（4～5学年）	月額5万円以内	一括30万円以内
短期大学・専門学校	月額5万円以内	
大学・大学院		

貸与期間 進学・在学する正規の修学期間

貸与決定 10月開催のにかほ市奨学生選考委員会において決定

決定通知 11月上旬予定

貸与方法 月額奨学金 令和5年4月以降、毎月第一木曜日 学生本人口座に振込

入学一時金 令和4年11月下旬から順次振込

学校教育課

1. 事業報告

- 6月30日(水) 教育研究所運営委員会
- 7月6日(水) コミュニティ・スクール連絡協議会紙面会議
- 7月9日(土) 吹奏楽コンクール中央地区大会
・小編成の部 金賞 仁賀保中、象潟中
- 7月10日(日) 全国小学生陸上競技交流会大会秋田県予選会
・5年男子100m
2位 象潟小学校 佐々木 愛斗
・6年女子100m
2位 平沢小学校 佐々木 優月
- 7月12日(火) 本荘由利校長会
- 7月16日(土)～17日(日) 県中体連総合体育大会
東北大会出場
・サッカー 仁賀保中学校 準優勝
・陸上 仁賀保中学校3年
熊谷碧衣 女子4種
(100mH、走高跳、砲丸投、200m)
・水泳 象潟中学校3年
須藤心愛 女子 50m自由形4位
" 女子100m自由形4位
- 7月22日(金) 1学期終業式 (7/23～8/24 夏休み)

2. 事業計画

- 7月25日(月) 夏季教職員研修会中止
- 7月27日(水) NRT検討会
- 7月30日(土)～31日(日) 吹奏楽コンクール秋田県大会
- 8月1日(月) 夏休み学習会(仁賀保・金浦・象潟)
- 8月5日(金) 市初任者研修
- 8月12日(金)15日(月)～16日(火) 学校閉庁日
- 8月20日(土) 小学校水泳交流会
- 8月25日(木) 2学期始業式 にかほ市校長会

生涯学習課・金浦公民館

1. 事業報告

6月27日(月)	28日(火)	パソコン講座初級編④⑤	各12人参加
6月30日(木)		第1回生涯学習・社会教育計画策定委員会	
7月5日(火)		スマホ教室①	7人参加
7月7日(木)		浜っ子クラブ「PTA見守り活動・創作活動」	34人参加
7月9日(土)		公民館講座「親子で船釣り体験教室」	親子11組24人参加
7月10日(日)		まんまある 「幸せを呼ぶサンキャッチャーをつくろう!&ほんわっカフェ」	親子8組16人参加
7月19日(火)		スマホ教室②	6人参加
7月19日(火)		公民館講座「ここ効く★リンパ講座」	32人参加

にかほ夢ギャラリー展示

7月 「湾頭絵画クラブミニ作品展」
出展者 湾頭絵画クラブ

2. 事業計画

7月26日(火)		スマホ教室③	
7月31日(日)		クラシック音楽をあなたと「有森博 ピアノリサイタル」	
8月1日(月)		第2回生涯学習・社会教育計画策定委員会	
8月6日(土)		第38回奥の細道象潟全国俳句大会(ねむの丘象潟)	
8月9日(火)		リーダー研修会(青少年育成にかほ市民会議)	
8月10日(水)		ほんわっカフェ in ぐうちよきばあ	

にかほ夢ギャラリー展示

8月 「日本画・水墨画展」
出展者 にかほ日本画・水墨画同好会

図書館・仁賀保勤労青少年ホーム

1. 事業報告

【図書館】

テーマ展示

仁賀保分館 「紙上で至上の旅に出る」

象潟分館 「異世界への誘い」

こぴあ 「夏を彩る本～夏に彩を添えてくれる本～」

「第68回青少年読書感想文全国コンクール課題図書」

「第18回にかほ市読書感想文募集課題図書（中学生の部）」

市内3図書館で展示中

6月24日（金） ブックスタート事業 5人参加

6月29日（水） 第1回にかほ市読書感想文募集事業審査会

【仁賀保ホーム】

7月7日（木） トレーニング室新規利用者講習会 14人参加

7月13日（水） オンライン講習会③ 1人参加

2. 事業計画

【図書館】

7月23日（土） ポップアップカードづくり（仁賀保分館）

7月25日（月）～10月末（予定）

図書館こぴあ大規模改修工事

8月4日（木）～8月16日（火）

3館同時開催 夏のお楽しみ企画「おぼんだま」

8月26日（金） 第2回にかほ市読書感想文募集事業審査会

【仁賀保ホーム】

7月30日（土） ツキイチコンサート

【白雪民謡会 民謡・舞踏の祭典】

出演団体：白雪民謡会 ほか

8月4日（木） トレーニング室新規利用者講習会

8月25日（木） ツキイチコンサート

【由利栄美のピアノ&トークショー】

出演団体：由利エンターテイメント

仁賀保公民館

1. 事業報告

7月 4日 (月)	キッズユートリック「あそびりんぴっく」1・2年	参加者15人
5日 (火)	キッズ・まもーる「平沢小学校」	参加者80人
6日 (水)	公民館講座「季節を彩る布飾り」2回目	参加者 5人
7日 (木)	キッズ・まもーる「院内小学校」	参加者37人
9日 (土)	公民館講座「元気のでる古典講座」2回目 『枕草子 清少納言』	参加者30人
15日 (金)	公民館講座「ダンスエクササイズ講座」3回目	参加者13人
18日 (月)	公民館講座「にかほ再発見！自然観察会」2回目 ～遊佐町の丸池様と牛渡川～	参加者28人
20日 (水)	むらすぎ学園「創作活動」	参加者37人

にかほ夢ギャラリー展示

7月 絵手紙作品展 出展者 絵手紙サークル朋の会

2. 事業計画

7月28日 (木)	キッズユートリック「遊佐めぐり」3～6年生
30日 (土)	公民館講座「元気のでる古典講座」3回目
31日 (日)	夏休み親子自然観察会「にかほ昆虫たんけん」
8月 3日 (水)	キッズユートリック「創作活動」1～6年生
6日 (土)	公民館講座「にかほ de ボードゲーム」1回目
10日 (水)	公民館講座「はじめての終活講座」1回目
27日 (土)	公民館講座「元気のでる古典講座」4回目

にかほ夢ギャラリー展示

8月 心珠会書展 出展者 心珠会

象潟公民館

1. 事業報告

- ・ 7月 3日 (日) 友遊くらぶ 「車いすバスケ体験会！」 13人参加
- ・ 7月 8日 (金) イスに座ってできる軽運動③ 18人参加
- ・ 7月11日 (月) 絵手紙教室② 9人参加
- ・ 7月18日 (月・祝) にかほ再発見！自然観察会② (仁賀保公民館と共催)
遊佐町の丸池様と牛渡川を訪ねて 28人参加
- ・ 7月20日 (水) 野菜ソムリエのおはなし 19人参加
- ・ にかほ夢ギャラリー展示 7月 アトリエ kirei kirei 出展者 池田 貞氏

2. 事業計画

- ・ 7月26日 (火) 白寿大学 心も体も喜ぶ体操
- ・ 7月27日 (水) 子ども版画教室①
- ・ 7月29日 (金) 子ども版画教室②
- ・ 7月31日 (日) 夏休み親子自然観察会「にかほ昆虫たんけん」
(仁賀保公民館と共催)
- ・ 8月 2日 (火) 友遊くらぶ「木のおもちゃ美術館へ行こう！」
- ・ 8月 4日 (木) 子ども版画教室③
- ・ 8月 5日 (金) 子ども版画教室④
- ・ 8月25日 (木) SDGs講座①「SDGsとは(基本)」
- ・ にかほ夢ギャラリー展示 8月
池田修三生誕100周年記念作品展「夏」 出展者 にかほ市文化財保護課

フェライト子ども科学館

1. 事業報告

(1) 新型コロナウイルス対策について(7月)

- ・休館日：月曜日 6月、7月はコロナ集団接種一旦終了により日曜、祝日とも開館。
- ・入館時間 9:00～11:45、13:00～16:30、館内の換気、消毒のため一時閉館(時間)
- ・館内の人数制限 なし ※状況をみて対応
- ・入館者への依頼事項：入館者の記録票記入、検温、手指消毒、マスク着用等
- ・実験工作教室等：少人数で実施
- ・夏休み期間中(7/23～8/24)の開館日

夏休み期間中(7/23～8/24)につき、定休月曜日は開館となります。

8月1日(月)以降については、4回目ワクチン集団接種が開始されるため、お盆休暇期間中(8/11(祝)～16(火))を除き各週日曜日、祝日は休館します。

以上のことから、夏休み期間中(7/23～8/24)の(特例による)開館日は、7/25(月)、8/1(月)、8日(月)、11日(祝)、14日(日)15日(月)、22日(月)となります。

(2) 入館者数の実績

	R4	R3	前年同期比	説明
4～6月計	5,244人	2,347人	123.4%	昨年度はコロナ禍で休館するなど制限があったため。
うち6月	1,899人	1,006人	88.8%	

(3) 7月の事業実績

① 7月2日(土) 3Dプリンタでネームプレートを作ろう!

○参加者：入館者限定 15人(定員15人) 講師 Hollow Cube(民間委託業者)

② 7月16日(土) 募集型実験工作教室「空中回転ゴマ」を作ろう!

小学児童生徒 4人(定員7人) 講師：山下研究員(TDK退職者)

③ WRO 秋田県中央地区予選大会実行委員会主催 事業

WRO 秋田県中央地区予選大会(8/5(金)開催)の講習会として2会場で開催

- ・7月3日(日) ロボット教室 15人 当科学館
- ・7月10日(日) ロボット教室 17人 由利本荘市文化会館「カダーレ」

④ 職場体験学習

7月12日(火)、13日(水) 2日間 仁賀保中学2年生 4人

2. 事業計画(7月、8月)

① にかほ市科学振興委員会事業

○対象 小学3年生～中学3年生

- ・7月26日(火)「TDK歴史みらい館で科学を体験してみよう！」TDK歴史みらい館
- ・7月27日(水)「にかほ市のジオサイトめぐり」 鳥海鉾立ビジターセンター
鉾立展望台
- ・7月28日(木)「夏の天体観測」 由利本荘市文化会館「カダーレ」

② 夏休み特別企画展「ミステリーレインボーワールド」※美しい虹の描写の展示

7月23日(土)～8月21日(日) 当科学館 2階 多目的ギャラリー

③ WRO 秋田県中央地区予選大会実行委員会主催 事業

大会前講習会 7/31、8/2～8/4

WRO 秋田県中央地区予選大会

- ・7月31日(日)、8月5日(金) 仁賀保中学校、仁賀保公民館
 - エレメンタリー(8歳～12歳) 市内4小学校 9チーム 25人
 - ジュニア(11歳～15歳) にかほ・由利本荘市内中学校 10チーム 29人
 - シニア(14歳～19歳) 県中央地区 高校・高専 1チーム 2名
- 合計 県中央地区 9校 20チーム、56人

④ 7月27日(水)～29日(金)

秋田県中堅教諭等資質向上研修 岩城中学校 教諭 1名

⑤ 8月8日(月)～10日(水) 職場体験学習 象潟中学2年生 2人

3. その他

特になし

白瀬南極探検隊記念館

1. 事業報告

(1) 入館者数の実績

	R4年度	R3年度	増減(▲)	説明
4月～6月	3,209人	2,071人	54.9%	
うち6月	642人	412人	55.8%	R3年度はエントランス工事のため6/21～7/2休館
7月の状況	・7/21時点で昨年度の同月と比較しほぼ同数の入館者			

(2) 白瀬南極探検隊運営審議会

日時：6月28日（火） 場所：金浦公民館

案件：役員選出、R3実績・決算報告、R4計画予算

(3) 企画展「白瀬隊のペンギン Penguin」

期間：7月20日（水）～11月6日（日）※開催中

内容：白瀬隊員たちが残した資料の中から、ペンギンについて紹介します。

- ・館内ペンギンスタンプラリー
- ・ペンギンワークショップ（塗り絵、白瀬・南極クイズ）

2. 事業計画

(1) オンラインイベント「南極・昭和基地ツアー」

日時：7月30日（土）14時00分～15時45分

内容：南極・昭和基地の第63次南極観測隊員と白瀬記念館を含む連携機関とオンラインで結び、観測隊の活動や南極の自然を紹介します。

(2) 他館からの講師依頼「山梨県立博物館“南極展”」

日時：8月20日（土）13時30分～15時00分

会場：山梨県立博物館（笛吹市）

内容：山梨県立博物館の企画展で、白瀬記念館の石船班長（学芸員）が「白瀬と南極探検隊」のテーマで講演します。

企画展

白瀬隊の ペンギン Penguin

展示期間

令和4年

7月20日水▶11月6日日

ペンギン
スタンプラリー

館内にあるペンギンスタンプ
ぜんしゅるいあつ
全種類を集めて、
プレゼントをゲットしよう!

秋田県にかほ市教育委員会
白瀬南極探検隊記念館

なんきょく む しらせたい はじめ み こうふん さか
 南極に向かう白瀬隊は、初めて見るペンギンに興奮し、「[魚
 に似て魚に非ず][鳥に似て鳥に非ず][泳ぐ時は魚に似たり]
 [浮ぶ時は鳥に類す]奇々怪々の動物よ」と表現しています。

しらせたい み たいいん のこ しりょう なか
 白瀬隊が見たペンギンは、隊員たちが残した資料の中に
 かわいらしく記されています。それらを紹介いたします。

館内ペンギンスタンプラリー

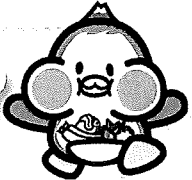


かんない ぜんしゅるい あつ
 館内にあるペンギンスタンプ全種類を集めて、プレゼントを
 ゲットしよう! ペンギンスタンプの図は、市立仁賀保中学校
 びじゅつぶ せいと せいさく
 美術部の生徒さんが制作しました。



開南丸 船長 野村直吉筆 「日本南極探検日記」

ペンギンワークショップ



ペンギンの折り紙や、にかほ市マスコットキャラクター「にかほっぺん」のぬりえ、白瀬・南極クイズに挑戦しよう!

オンラインイベント

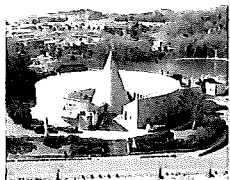
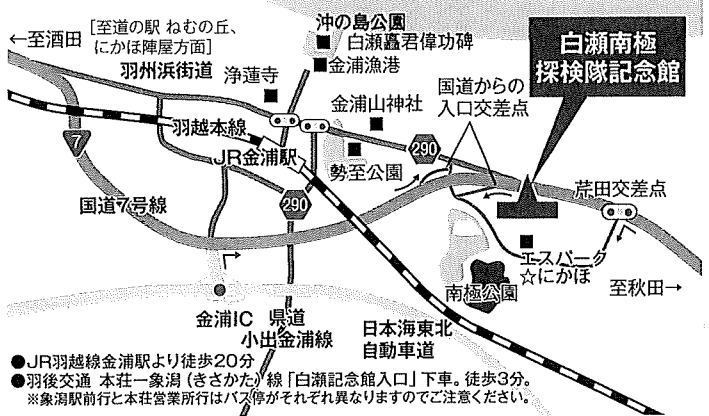
「南極・昭和基地ツアー」

なんきょく しやうわ きち だい じ なんきょくかんそくたいいん えつどうたいいん
 南極・昭和基地の第63次南極観測隊員(越冬隊員)と
 しらせ なんきょくたんけんたい きねんかん ぶく れんけい きかん
 白瀬南極探検隊記念館を含む連携機関とオンラインで
 むす かんそくたい かつどう なんきょく しぜん しやうかい
 結び、観測隊の活動や南極の自然を紹介いたします。

- 日時** 7月30日(土)14時00分～15時45分
- 会場** 白瀬南極探検隊記念館オーロラドーム
- 内容** 企画展の説明(14時00分～)
昭和基地からのライブ配信(14時45分～)
※「ライブ配信」のみの参加でも結構です
- 定員** 30人
- 参加費** 無料(入館料も無料)
- 問合せ・申込先** 白瀬南極探検隊記念館 0184-38-3765



アクセスマップ



白瀬南極探検隊記念館

〒018-0302 秋田県にかほ市黒川字岩瀧15-3

TEL.0184-38-3765

[ホームページ] <http://shirase-kinenkan.jp>

記念館HP
QRコード



- 入館料:**
- 一般/300円 ● 小中学生/200円 幼児無料
 - 団体割引/20名以上 通常の100円引き
 - 障がい者割引/無料※受付にて手帳等をご提示ください。
 - にかほ市内の小中学生は入館無料
- 開館時間:** 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日: 月曜日・年末年始(12月29日から1月3日まで)
 ※月曜日が国民の休日の場合は、その次の平日が休館日となります。



山梨県立博物館夏期企画展
山梨日日新聞創刊・山日YBSグループ創業150周年記念

たんけん!はっけん!

Sanmichi YBS Group

南極展

Antarctica

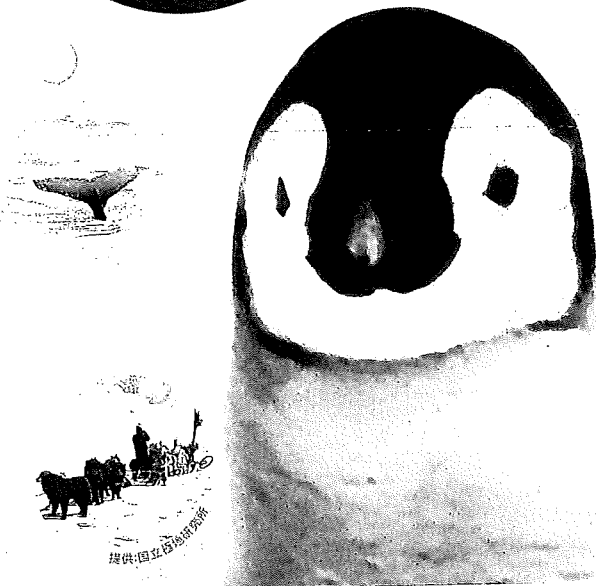
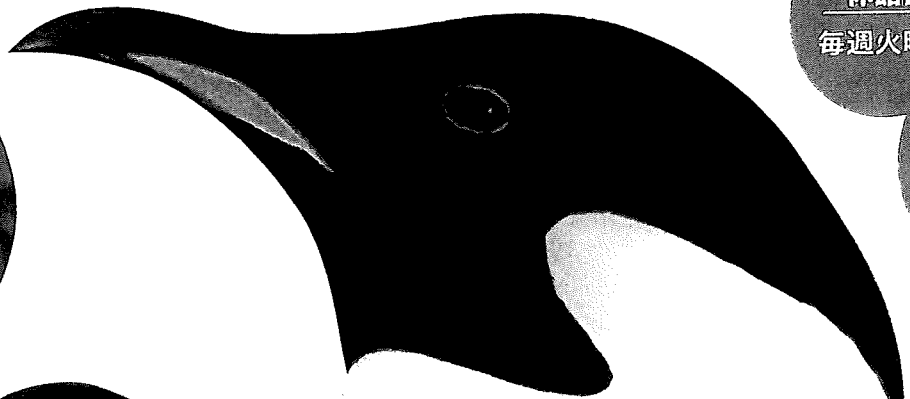
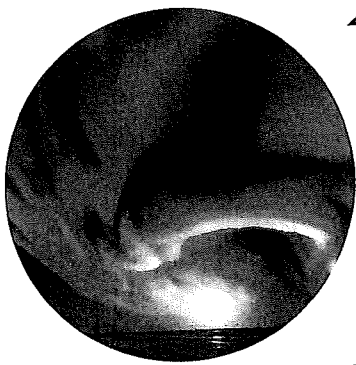
2022
7.16

壮大な自然と人々の物語

9.5

休館日
毎週火曜日

開催時間
9:00~17:00
(入館は
16:30まで)



観覧料	一般	1,000(840)円	大学生	500(420)円	常設展+ 企画展共通券	一般	1,260円	大学生	590円
	高校生以下の方、県内在住の65歳以上の方、障害者の方(およびその介護をされる方)は無料								

山梨県立博物館
Yamanashi Prefectural Museum

※()内は20名以上の団体、県内のホテルや旅館に当日が前日に宿泊する方を対象とした割引料金です。※観料、割引の対象となる方は、それぞれ証明できるものをご提示ください。※購入日から何日でも観覧できる年間パスポート(一般2,100円、大学生1,050円)もございます。※ご来場時はマスク着用など、新型コロナウイルス感染予防策にご協力ください。また、状況によっては中止、もしくは入場制限を実施することがあります。※中のフウティンペンギンを除き提供等が明記されていない写真は©国立極地研究所、提供:株式会社キムラ

主催/山梨県立博物館、山梨日日新聞社、山梨放送 ◎後援/朝日新聞甲府支局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、読売新聞甲府支局 ◎協力/株式会社キムラ、国立極地研究所、日本通運株式会社、山梨交通株式会社 ◎協賛/日本ネットワークサービス

たんけん!はっけん!

Antarctica 南極展

壮大な自然と人々の物語

「宇宙よりも遠い場所」の南極

南極は、地球上でありながら、ながく人類の手がおよばない未知の領域でした。さまざまな可能性が詰まった「宝箱」ともいえる南極に、人々は何を思ったのでしょうか。

極地に挑んだ人々

人類が南極点に到達したのは20世紀になってからのことです。山梨の人々も関わった、明治と昭和の南極観測の苦難と努力の取り組みをご紹介します。

ペンギンを抱きかかえる隊員たち

白瀬隊長を中心とした110年前の南極探検隊員たち(明治時代、当館蔵)

巨大なスクリーもへし折る南極の氷

南極観測船宗谷のスクリー(国立科学博物館蔵)

110年前の日本人が描いたペンギン

白瀬隊の帰国時に描かれたペンギン(明治時代、当館蔵)

大迫力!「南極シアター」



南極のオーロラやふしぎな気候など、4面画像でご紹介します。

アニメキャラクターの特別ナレーションが展示のどこかに!

アニメ「宇宙よりも遠い場所」シーンパネルコラボ展示!

南極と地球の未来

この夏、博物館が「南極」に!

「南極」は地球上でありながら、ながく人類の手がおよばない未知の領域でした。さまざまな可能性が詰まった「宝箱」ともいえる南極に、人々は何を思ったのでしょうか。

南極の生きものたち



アデリーペンギン

ウエッデルアザラシ

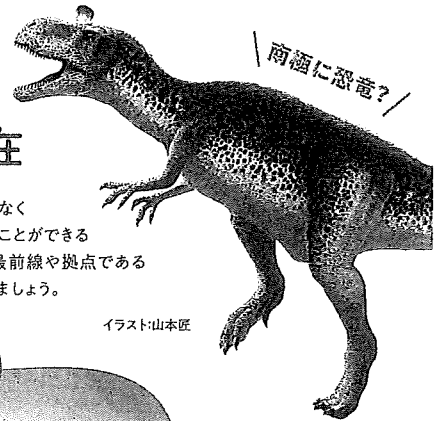
ペンギン、アザラシ大集合!!

※実際には、ペンギン、アザラシは、国立極地研究所、提供、イラストは、山本匠

南極は極寒の地でありながら、独特な動物の住み家となっています。まっ白な氷の大地に、どんな住人たちがくらしているのでしょうか。

南極の自然と現在

南極は太古の地球だけでなく、現在や未来の地球を知ることができるフィールドです。研究の最前線や拠点である昭和基地について見てみましょう。



南極に恐竜?

イラスト:山本匠

昭和基地の生活・お仕事を紹介!



©国立極地研究所、提供:株式会社キムラ

特別出品!

南極で採取した月隕石と火産隕石

(国立極地研究所蔵)

厳しい自然環境に包まれた南極という「宝箱」は、現在と未来の私たちにとって、どんな場所なのでしょう。

連イベント

いじあむ南極教室

のふしぎや、生き物たち、南極に挑んだ人々についてお話しいただきます。

- 日(日)「南極からみる地球」講師 小林 拓さん(山梨大学准教授)
- 日(日)「バイオロギングで探るペンギンの生活」講師 高橋晃周さん(国立極地研究所准教授)
- 日(土)「白瀬隊と南極探検隊」講師 石船清隆さん(白瀬南極探検隊記念館学芸員)
- 日 13:30~15:00 会場 生涯学習室
- 定員30名。聴講無料。事前申し込みが必要。オンライン配信も予定しております。

事前申し込みは当館ホームページで必要事項を確認のうえメールでご応募ください。

親子でたんけん!南極展ツアー

南極展を夜にご覧いただくツアーです。

- 日時:7月30日(土)・8月11日(木・祝) 17:30~18:30
- 集合場所:エントランスロビー
- 対象:小中学生とその保護者の方
- 定員:10組
- 事前申し込みが必要。



担当学芸員の見どころ解説

南極展の見どころを学芸員が解説します。

- 日時:7月16日(土)・7月30日(土)・8月6日(土)・8月28日(日)・9月3日(土)
- 時間はいずれも14:00から1時間程度
- 会場:生涯学習室 定員:30名
- 事前申し込み不要、参加無料(当日13:00から整理券を配布)。

※イベントは変更・中止になる場合があります。

山梨県立博物館 Yamashiro Prefectural Museum

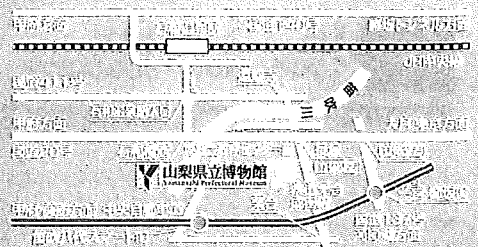
TEL 055-268-2621 FAX 055-268-2622
URL: <http://www.museum.pref.yamanashi.jp>
E-mail: kanakata@pref.yamanashi.jp



山梨県立博物館 公式Twitter @kanakata_yamanashi

本展覧会はマスクの着用など、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策にご協力をお願いします。また、状況によっては中止、もしくは入場制限を行うことがあります。

- 観覧時間: 午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 観覧料: 大人1,000円、中学生以下500円
- 観覧料: 山梨県民、山梨県立博物館会員の観覧料は無料
- 観覧料: 山梨県立博物館会員の観覧料は無料
- 観覧料: 山梨県立博物館会員の観覧料は無料
- 観覧料: 山梨県立博物館会員の観覧料は無料
- 観覧料: 山梨県立博物館会員の観覧料は無料



文化財保護課・象潟郷土資料館

1. 事業報告

○入館者数の実績

	R 4	R 3	比較	増減率	説 明
4～6月 計	717人	574人	143人	24.9%	
うち6月	306人	194人	112人	57.7%	

○秋田県立図書館特別展 ～池田修三とふるさと秋田～

6月16日(木)～7月12日(火) 入室者計5,580人(1日平均232.5人)

月日	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28
入室者	449	261	305	307	202	200	242	217	331	291	217	162
月日	6/30	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12
入室者	142	150	175	259	144	127	257	254	203	271	190	224

6月30日(木) 伝承芸能保存団体連絡協議会

7月 1日(金) 秋田駅・空港・にかほっと池田修三展・スタンプラリー

9月25日(日)まで

2. 事業計画

7月29日(金) 郷土史研究会視察研修

8月17日(水)～8月18日(木) 若者支援住宅埋蔵文化財分布調査(追加分)

8月27日(土) 第11回鳥海山伝承芸能祭(仁賀保勤労青少年ホーム)